



令和8年度 長野県稲荷山支援学校グランドデザイン



長野県特別支援学校 重点目標

- 一人ひとりのニーズに応じた教育の提供
- 特別支援学校の専門性の向上
- 地域や企業の方との協働の学びの充実
- 地元の同世代の友との交流及び共同学習の充実
- 幼保小中高等学校における特別支援教育の対応力の向上を支援

【本校の使命】

- 児童生徒が障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服し自立を図るために必要な知識技能・態度が身につく支援
- 共生社会実現に向けた理解・啓発
- 肢体不自由・知的障がい教育の専門性の維持・向上及びセンター的機能の充実

学校教育目標

「明るく
たくましく
より豊かに」

【学校長の願い】

- 自分の良さを知り、自分らしく生活できる児童生徒
- 安心・安全な学校生活
- 支え合い、認め合い、磨き合う職員集団

【目指す学校の姿】

- 児童生徒が日々の生活を楽しみに登校する学校
- 保護者が安心して子どもを託すことのできる学校
- 地域の特別支援教育のセンター的機能を果たす学校

【目指す子どもの姿】

- 「明るく」：元気と笑顔
- 「たくましく」：体力と挑戦
- 「より豊かに」：人やものとの出会い

【目指す教師の姿】

- 人権を尊重する教師
- 支え合い認め合う教師
- アンテナ高く学び続ける教師

令和8年度 学校運営の重点

◆安心安全な学校

- ・支援情報や危機管理体制の共通理解
- ・災害時の避難体制（引き渡し）の確立
- ・安心安全な医療的ケアの実施
- ・必要に応じた感染対策

◆人権を尊重した教育の推進

- ・子どもの願いや思いを大切にされた教育実践
- ・体罰・暴言・スクラムスマットが絶対がない学校
- ・「さん」づけの徹底
- ・子どもと共に活動する「共同生活者」

◆特別活動

- ・地域と連携した学習活動の充実
- ・安心安全な校外学習・宿泊行事
- ・同世代の友と学びあう交流及び共同学習（副学籍）

◆学習指導

- ・毎日を楽しみに登校できる生活づくり
- ・個別の指導計画・シラバスを活用した授業づくり
- ・個別最適な学びと協働的な学びの一体化
- ・教育的ニーズに応じた自立活動の充実
- ・ICTを活用した学習活動の推進

◆進路指導・キャリア教育

- ・保護者、関係機関との連携
- ・児童生徒の自己理解の促進
- ・小中高一貫したキャリア教育の推進
- ・技能検定の活用（高）
- ・生涯学習につながる学習活動

◆センター的機能の充実

- ・知的障がい・肢体不自由児童生徒への支援の充実
- ・地域と連携した相談支援
- ・地域への特別支援教育研修の発信
- ・学校解決力を高める教育相談

◆専門性サポートチームの運営

- ・専門性を生かした担任支援
- ・専門性向上のための研修の充実
- ・特別支援学校間の連携

◆学校管理・職員指導

- ・風通しの良い職員風土
- ・非違行為防止
- ・働き方改革の推進
- ・学校全体で支える初任者研修
- ・新校名施行の発信

令和8年度 各部・各ブロック等、運営の重点

【各部、分教室】

- ①保護者や関係機関、地域と連携した指導
- ②学習グループの工夫、学年の時間・生徒会の充実
- ③交流及び共同学習の充実
- ④進路指導の充実
- ⑤魅力ある分教室運営（ビルクリーニングを主とした作業学習や更級農業高校との連携）

【寄宿舎】

- ①安全で安心できる寄宿舎生活
- ②主体的・意欲的に取り組める生活づくり
- ③基本的生活習慣の確立や社会性の伸長
- ④個々に応じた自立への力の育成

【1ブロック・進学コース】

- ①特性を踏まえた学習支援・キャリア教育
- ②自己理解を深める学び
- ③基礎学力の定着
- ④自立活動の充実

乗り入れ・共同学習

【2ブロック・総合コース】

- ①基本的生活習慣の確立
- ②遊びの指導の充実（小）
- ③体験を重視した生活単元学習（中）
- ④卒後の進路を見据えた作業学習（高）



【3ブロック・生活コース】

- ①生活活動の指導を中心とした健康の保持
- ②遊び活動の指導を中核とした生活づくり
- ③ニーズに応じた課題活動（自立活動）の充実